

尾張町しにせ通りで

金沢 かわら版

20

この店だったの買ひに来た！
人の心の失ってはならない、
相手を思いやまじい心を、連絡
と持ち続けること。これは先づ
タリ的な不連続の連続では得難
い。アナログ時計の針のよう
に、途切れることなく連続する

残された〈照日の前〉はこゝ
たんは、殿が御位(みくら)に
つかれたことを喜び、別れの
悲しみを忘れようとするものの
事情もある方ない日々。ついに、
その花轎を持ち、越前より京の
都へ架けし…。

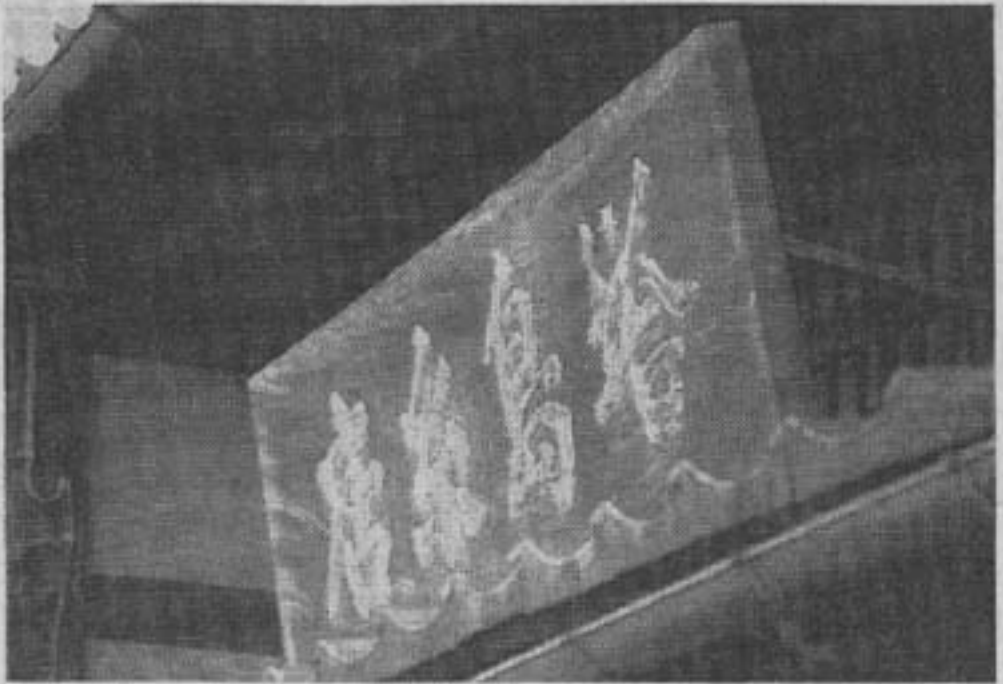
やがて、京の幕府天皇の行列
に狂女が飛び出す事件が起る。
牛車から顔を出して見れば、
この残りのあったままの
〈照日の前〉であることに気付
き、元のように共に暮らすまら
になった。

相手のことを思いやる「や
さしめ」を失わないことは、そ
のままお客様のためを思ふ尾張
町商人のこのことと同じはず。こ
の相手を導く「ゆるぎ」、それを
迎える「ゆるぎ」が一つにな
る時、思ふもゆるぎなく
「商い」が生まれる。

目先の利益より、一旦遠回り
のように見える商いは、時代を
越えて伝わりつづきたい。尾張
町は近代化に乗り遅れた「狭い
町」かも知れない。けれど、こ
こにしかない歴史と文化を継
続したものが輪美に生きている町
ひまわり。

自分の町への愛着を発見す
れば、町作りは面白いこと「街
(TM) D1となるはず。それ
は、尾張町ひまわりは、(TM)
」を築きなごうを。

107 珠一
＝尾張町若手会



歴史と文化糧に 「街創り」めざす

中びこそ増われるものよろ
だ。

尾田「花世(はながたみ)」
では、ある日突然、幕府殿が皇
位継承者となって政權を握れる
ひまわりが来た。共に京
くむひまわり、殿が迎えの使いを
出されたもの、〈照日の前〉
はがよみひまわりをこころで
ひまわりをなまむすびまわり。殿
りの花世だけを道わればひま
ひまわり。

「尾張町しにせ通り」は今
目撃者の証。

町はみ

尾張町は、古く商賈の通りの表
みが軒を連ねて商いをこころ